

# 進路指導

実習を経験することで、仕事や作業がどれくらいできるのか、それにかかわる生活をどのようにしていけばよいのかを知り、卒業後の進路先や生活について見通しを持って行きます。中学部では1週間の校内実習、高等部では1年前期に校内実習、1年後期、2～3年の前期・後期と計5回の現場実習を行います。実習の前後で教育相談を持ち、実習前には実習を通して目指す姿、実習後には実習を終えての成果と課題、卒業後の目指す姿などについて話し合いを持ちます。必要に応じて特別実習を行う場合もあります。



## ● 現場実習（産業現場等における実習）

福祉事業所や一般企業で2週間、実際に仕事をする実習です。普段、学校で行っている働くことの学習（作業学習）を発展させたものです。



## ● 特別実習とは

就労を間近に控えた生徒が、主に長期休業期間等を利用して行う現場実習です。

